

心理学研究科 心理学専攻

学位論文審査基準

学位論文（博士論文）は以下の基準によって審査を行う。

1 研究テーマの妥当性について

- (1) 独創性、新規性、有用性を、それぞれ有しているか。
- (2) 心理学的視点を有しているか。
- (3) 先行研究について十分な調査を行い、研究の意義・重要度を明示できているか。
- (4) 他の研究との関連性や相違について言及されているか。
- (5) 研究の目的は明確に示されているか。
- (6) 目的は論理的に導かれているか。

2 研究の遂行について

- (1) 研究・調査の方法は適切か、目的に対するアプローチ方法は適切か。
- (2) 倫理的な問題を有する場合、その対処が適切になされているか。
- (3) 収集された情報の分析方法、あるいは、得られたデータの分析方法は適切か。

3 考察について

- (1) 結果に対する解釈は適切か。
- (2) 結果から新たな知見が導き出せているか。
- (3) 考察は論理的に展開されているか。
- (4) 心理学的意義が示されているか。

4 研究の価値について

- (1) 研究に「独創性」「新規性」「有用性」「体系性」「実証性」「論証性」「普遍性」などの価値が認められるか。
- (2) 学会・社会への貢献が期待できるか。

5 論文の構成・全体について

- (1) 学術論文として、構成および体裁は適切か。
- (2) 図・表は適切に示されているか。
- (3) 引用文献は適切に示されているか。
- (4) 研究の配列、全体の構成に論理の一貫性はみられるか。